

1. 件名：「新規性基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（高浜1、2（3、4）号炉（355）」

2. 日時：令和3年 6月 2日 10時00分～12時10分

3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室

4. 出席者（・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁

（新規性基準適合性チーム）

関企画調査官、三好上席安全審査官、深堀上席安全審査官、竹田上席安全審査官、鈴木主任安全審査官、岩野調整係長

技術基盤グループ

システム安全研究部門

山本技術研究調査官、酒井技術研究調査官

関西電力株式会社

燃料保全グループ チーフマネジャー 他5名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

- ・資料1 高浜発電所 発電用原子炉設置変更許可申請（1号及び2号原子炉施設の変更）【使用済燃料ピットの未臨界性評価の変更】審査会合における指摘事項の回答
- ・資料2 T12SFP未臨界評価条件一覧
- ・資料3 高浜1、2号炉 使用済燃料ピット 未臨界評価に関する補足説明
- ・資料4 高浜1、2号炉 使用済燃料ピット 未臨界性評価条件の変更内容について

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい。
0:00:03	おはようございます。高松減少やっぱの当SFPの未臨界評価の変更に関するヒアリングを実施します。
0:00:14	じゃあ関西電力さんへとして赤い36から資料4だと思いますが、メインに使って変更点をまず未臨界評価では、表のと今回の資料2の表をフィックスするっていうことを
0:00:30	メインにしながら説明をしていただきたいと言っしてください。で塗装しにあたっては、資料4っていうのを配布してますので、それをメインに説明することになるとは思います。
0:00:46	富雄さんスズキ佐柄と資料4定フォルダに入れてありますでしょうか。
0:00:57	私はちょっとフォルダが見れないんで。
0:01:02	今手元にはありません。ですからメールでお送りしてるやつなんですけども、PARするではちょっと言いますと、お願いいただけないと水産見られますか。
0:01:14	IBMは一つ。
0:01:15	じゃあちょっと
0:01:20	被告リアル初めに説明を岩碎片方からお願いしたいと思います。はい。
0:01:29	わかりました。
0:01:34	タケダすみません関西電力のヤマノでございますが、はい。ミヨシ様のほうの資料のほうがご準備いただければ少々お待ちしたほうがよろしいかなと思ったんですけども、いかがいたしましょうか。
0:01:46	規制庁の武田です。皆さん来見えます。
0:01:50	いろいろ五つのメールですよ今メール見れるんですけども、先週の金曜日ぐらいに、私が遅れたメールです。
0:02:04	。
0:02:05	31日の月曜日ごめんなさい31日の月曜日の16時7分にお送りしたメールです。
0:02:22	すみません。
0:02:24	それじゃ関西電力から説明をお願いします。
0:02:31	はい、他電力のヤマノでございます。それでは資料を用いまして資料を用いまして説明をいたします。
0:02:38	本日の説明に当たりましては、先ほどご提示いただいたところでですね、前回の御指摘を受けて、この解析条件の一部を見直しております。この見直した解析条件について、まずは見直しに至った理由や考え方について御説明策定いただきまして、

0:02:57	そのあと2点が必要に応じて詳細な説明をさせていただきたいというふうに考えております。
0:03:03	お手元の資料ご確認をお願いいたします。今回資料は4点ございまして、資料1は前回4月の15日に行われました。審査会合での指摘事項についての回答資料でございます。
0:03:16	資料には、今回実施する基本係数バンド解決感度解析ケースでの条件をまとめた一覧のもの。
0:03:25	資料3は、資料1の補足説明資料になります。
0:03:29	また、資料2の解析条件に記載する条件を一部見直すことといたしました。これに対する補足説明を意図して資料4を追加しております。
0:03:42	それでは解析条件の見直しに至った理由や考え方に対する御説明に移ります。
0:03:48	説明は主に資料4を用いますが、資料2を横に置いていただきまして、該当箇所をご確認いただきつつ、進めさせていただきたいと思っております。
0:04:00	それでは資料4と資料2について御準備いただけますでしょうか。
0:04:09	はい。まず最初に資料4-1ページ目をお願いいたします。
0:04:16	初めに、SFP臨界性評価条件である燃料条件という部分条件について、北の表にありますように、一部見直すことといたしました。
0:04:28	表は左側より順にA項目。
0:04:32	前回4月15日の会合時での前提条件、
0:04:37	そして、変更後の設定条件としてもしてまとめております。
0:04:43	まず核種選定でございますが、前例するFP核種について、この枠囲みにある通り考慮するかについて見直しております。
0:04:56	続いて流量については、基本ケース条件及び
0:05:01	不確かさを考慮した条件とともに、この枠囲みにある通り、変更させていただきます。
0:05:08	これらについて今から個別に御説明をいたします。
0:05:13	燃料条件の変更点についての御説明に移ります。
0:05:17	燃料条件に対する見直し項目である核種選定についてです。資料2における該当箇所といたしましては、
0:05:25	左側で燃料条件の項目のP下から二つ目各主体であるところの横になっております。基本ケースの中で枠で囲んだ、一番下の箇所になります。
0:05:45	では、資料に戻っていただきまして、2ポツ燃料条件をご覧ください。読み上げます(1)核種選定基本ケースでございます。

0:05:58	臨界計算で考慮するFP核種については、ベンチマーク解析において委員会実験体系の実効増倍率の影響度合いが大きい拉致ベンチマークに十分な量が体系内に存在しているといえる各社から選定することといたしました。
0:06:17	印可実験体系に含まれるFP核種の中から1核種ずつその核種の存在を考慮しない解析を実施することにより個々のFP核種による実効増倍率税の感度を確認した結果、ノウハウはコミュニティーの中に核種については、
0:06:34	臨海実験体系の影響度合いが大きくベンチマークに十分な量が体系内に存在しているとみなすことができるため、引き続き臨界性評価においても考慮することといたします。
0:06:47	一方で、この枠囲みの中にある核種については、臨界実験体系の影響度合いが大きいと言えなかったため、今回の審査においては、臨界性評価にて考慮しないことといたしました。
0:07:03	燃料条件に関する変更。
0:07:11	お願いします。
0:07:15	まず水分条件に対する見直し工学のうち、(1)の流量ケースについてです。資料2では台頭箇所ページ左側水分条件の一番上、
0:07:31	流量の基本ケースのところを枠で囲んだ部分になります。
0:07:38	では、資料4を読み上げさせていただきます。(1)流量基本係数、
0:07:44	流量設定にあたっては、
0:07:46	設置許可基準規則第54条2項に係る対応であることを踏まえ、事故時の手順に基づくものに限定することといたしました。
0:07:55	これにより、通常で向けの手順であった計16r2の2、これは2次系純水タンクだ統計し脱気水ポンプを使用するものでございましたけれども、こちらの流量40立米/hを考慮せず、設定する量を報告の通り、合意することといたしました。
0:08:26	規制庁の武田です。途中でちょっと原子力事業ホームの音声途切れているんですが聞こえますか。
0:08:39	うん。
0:09:02	うちですかね、下の規制庁の武田です。うち、
0:09:05	アマタなんて、
0:09:08	規制庁のタケダリフォームビフォー用いた航空機衝突による航空機燃料火災への放水については、設置許可基準規則第54条2項に係る対応ではないものの、
0:09:20	そう。ハウスイと同じ手順欄に記載しているということを踏まえまして、大規模火災により一つだけ、規制庁のタケダでちょっとごめんなさい、現場の調子が悪くて、ちょっと今の発言が聞こえなかったんでもう1回お願いできませんか。

0:09:36	水のところからすみません。
0:09:44	承知いたしました省庁がください。
0:09:48	。
0:09:50	ちょっと再開する前に事務連絡ですけどスズキさんの関西電力のと全部聞こえてましたか。
0:10:00	うちの方も水のところの最初からトイレました。
0:10:04	はい、わかりましたじゃやっぱ関西電力側のちょっと調子が悪いみたいですねもう
0:10:10	ちょっともう少し続けてみましょう。はい。
0:10:14	じゃあの関西電力あの水のところから説明を再開してください。
0:10:39	こちら東京支社の佐藤です。ちょっと事業本部がうんて調子悪い皆さん長電話かけています。少しお待ちください配信だけです。お願いします。
0:10:57	規制庁の武田です。水分条件のところから関西電力電力事業本部のほうから説明してください。
0:11:06	はい、関西電力のヤマノでございます。承知いたしました。では再開させていただきます。
0:11:14	お手元の資料 4、2 ページ目を御確認ください。
0:11:22	サポート水分条件と書かれておりますところでございます。
0:11:27	まず水分条件に対する見直し項目のうち、(1)の流量基本件数についてでございます。
0:11:35	資料 2 の該当箇所といたしましては、資料に左側水分条件の一番上になります燃料条件の基本ケースでの枠で囲んだ部分になります。
0:11:50	それでは、資料に戻っていただきまして読み上げさせていただきます。自分条件(1)流量基本件数流量設定にあたっては、設置許可基準規則第 54 条 2 項に係る対応であることを踏まえ、
0:12:06	事故時の手順に基づくものに限定することといたしました。
0:12:11	これにより、通常時向けの手順でやった手順 - 2。
0:12:16	2 次系純水タンク、これはキトー経由した規制ポンプを使用するものでございましたけれども、こちらの流量 40 立米/hを考慮せず、設定する流量を四角で囲んでおります。やっぱり囲んでおります通り変更させていただいております。
0:12:35	続いて(2)の流量ケース についてです。
0:12:40	資料 2 の該当箇所といたしましては先ほど同様、水分量研の流量条件
0:12:47	フェーズ 1 の枠で囲んだ部分になります。
0:12:51	軽水 はにるに対する不確かさを考慮したものとなります。
0:12:55	それでは資料 4 のほうを読み上げさせていただきます。(2)流量計図 1、

0:13:02	基本ケースと同様に不確かさについても、事故時の手順ぐらいであろうというものに設定することといたしました。
0:13:11	これにより、手順ぐらいのライナ構造を呈していた恒設設備の構成運用の変更によるカードを考慮いたしました。
0:13:22	一方、1ページの辺りのポンプ台数については、運転もう切り替える場合に、一時的に複数台分の流量が流入次移る可能性を踏まえて、従来通り系統内のポンプ全数が起動するとして変更したいということにいたしました。
0:13:39	また大容量ポンプを通行量でございますけれども、こちら及び防水防護を用いた航空機衝突による航空機燃料火災への報告については、設置許可基準規則第54条2項に係る対応ではないものの、
0:13:55	SFPへの放水と同じ手順社内に記載しているということを踏まえまして、大規模火災による放水での流量の増加による感度として確認することとして設定する流量をこの額はこの通りに変更させていただきます。
0:14:11	にるに関する変更点の御説明は以上です。
0:14:15	最後に、4発、独立した不確かさを重畳させた解析係数の取り扱いについてです。
0:14:23	資料2では従来大規模損壊双方大規模損壊想定ケースとして、一番右側にあったものを今回削除させていただいております。
0:14:34	それでは削除に至った考え方について御説明をいたします。
0:14:38	資料4を御確認をお願いします。
0:14:43	このポツ独立した不確かさを重畳させた解析結の取り扱いについて、今回の未臨界性評価に係る流量設定や不確かさに関する考え方の変更に伴いまして、大規模損壊時に想定する評価条件についても、より現実的なものとなるように見直し、
0:15:02	独立した不確かさを重畳を考慮不要といたしました。
0:15:06	なお、大規模損壊時においては、航空機燃料火災等が発生した場合に、水防用いた降水を実施する可能性があるが、本対応を実施した場合の未臨界性の影響は流量条件の不確かさを踏まえた
0:15:22	ケース1により考慮されることとなります。ケース に含まれてる方がされるということでございます。意味でございます。
0:15:30	これにより、資料2での扱い上は大規模損壊想定ケースを削除することといたしました。
0:15:39	以上に異常で資料2の解析条件の一部を見直した内容、及び見直しに至った理由や考え方についてご説明させていただきました。
0:15:50	とりあえずここで一段落させていただきたいと思いますが、タケダさん何かございましたらよろしく願いいたします。

0:15:58	はい。規制庁の武田です。タケダの方からいくつかまず
0:16:04	ちょっと説明をお願いした説明を部分がわからないところをちょっとコメントがあるんですが、まず資料4-2ページ目の3の水分条件のところですが、水分条件
0:16:21	40立米パーアワーを考慮せずって書いてあるんですが、これに関して40立米を入れないと通常これがベースの流量となっていないってことを明確に説明して欲しいんですが、
0:16:41	関西電力のヤマノでございます。
0:16:44	えーとですね、ただいまの
0:16:48	母子のですね。
0:16:52	手順上ぐらいのラインアップを想定していた申し訳ございません。
0:17:00	健全 - 2脱気脱気統計だけ水防補修しているものというのがとかれているところの御説明を今から差し上げたいと思います。
0:17:12	資料1、
0:17:14	はい。
0:17:15	これ全部できまして、右肩7ページ目を御確認ください。
0:17:31	時右肩7ページ目の下の表がございます。こちらの注水放水に分けて流量書かせていただいております。来手順が左側にごさしまして、基本ケースの流量と不確かさを考慮した流量という形で並べております。
0:17:48	この中で、該当するところがですね、上から3行目の - 2、2次形状バタンク括弧2次系純水ポンプというところでたき統計油脂脱気水ポンプを使用するというところがございますが、こちらに今まではですね、前回の会合までは、
0:18:06	来補欠流量に40立米というふうに書かせていただいておりますものを
0:18:12	ノとして考慮しないことになっております。
0:18:15	こちらは*の米2ということで横に書かせていただいておりますが、通常操作の手順であるため考慮しないということにさせていただき今回考慮しないという形で整理させていただいたものでございます。なぜ考慮しないのかというのはですね、同じく添10%へと。
0:18:33	資料1の右肩5ページ目、お願いを確認した際、
0:18:40	こちらでですね、今回の基本ケース条件の流量の設定の考え方というのをまとめております。まず基本ケース条件の流量というのはもうSA手順に基づいて設定することということといたしました。
0:18:56	この三方5ページ目の表、
0:19:01	下のほうに書かせるいただいております。下の右の側、右側のほうでございます。これが移動するところがまず上から3行目の二次系純水タンク、2次系純

	水ポンプとだけ統計費だけ成分補修するということですが、これだけはですね、その手順種別が通常時向けで、
0:19:20	整備している社内標準は、通常操作所属と。
0:19:24	いうもので整備しておりますので、SA手順と外れているということで、こちらについては54条の対応からは、外そう考慮はしないでおこうということな形で整理したということになってございます。
0:19:36	説明は以上でございます。
0:19:38	規制庁の武田です。私言ってるのは等事故時の手順ではいいんですけども、通常時からこれで40ルビ出てるわけじゃないですよということが一言書いとかなきゃいけないんじゃないかと思うんですが、それに関して、CAQことはできますでしょうか。
0:20:00	はい。
0:20:02	規制庁の武田です。だからそういう意味だと40立米っていうのはもうほとんど使われ通常時から、通常向けの手順で使ってないということで理解でいいんでしょうか。
0:20:18	関西電力のシムラです。Gellerさん以上おっしゃっていただいたなと仮にその常日頃から40立米っていう流量でピットへ注水してるのであれば常に入ってる量ということで考慮するべきだろうという御指摘かと思うんですけど。
0:20:34	今おっしゃっていただいた通りですね国庫のもとと手順ということで記載したところはほとんど使っていないというのは必要でございますので、
0:20:49	はい。そちらも資料にそのような状況等を含めて、
0:20:54	記載することをちょっと検討したいと思って思います。
0:20:59	規制庁のタケダですね頻度も含めてそう補足説明として入れて入れ込んでください。
0:21:04	データも次のページ、FARSITEフクハラですけども、ちょっともう一度タケダさんの意図だけ確認させていただきたいんですけども、このホーム上っていうのが通常操作の手順であって、そういう操作というのは何かも年が年10365日24時間ずっとダーと20時間、
0:21:24	ご教示レベルに水が出っ放しっていうのがまずありきで何ですかということを経営が見たくでもしそうなんだったら、たとえそのSA手順じゃないかといって、考慮しないわけにはいなくてやっぱりこれベースとして出しとくべきじゃないのっていうことかなと思うんですけども。
0:21:44	質問行ってもそういう意図でよろしかったですかね。
0:21:48	規制庁の武田です。そういう人なんですが、単純に、だからそう誤解されないように流量にこの40立米に関しては通常使ってないよっていうのを記載してくださいという。

0:22:01	以上です。
0:22:03	いやわかりましたけど井戸からのフクハラです。
0:22:08	ちょうど数量も手順なんだけどもそんなしょっちゅうやる操作じゃないですよっていうことをどっかに書き添えておけってということですね、配管の配置をいたしました。
0:22:19	規制庁の武田です。次に行きましてええと流量の不確かさケースなんですけども、規制庁鈴木ですタケダさんちょっといいですか。
0:22:28	はい、お願いします。
0:22:30	今のタケダ3-1棟は通常運転状態において、SFPに補給が必要になるときに、
0:22:41	使っているだけですっていうのを、
0:22:47	書いてあるだけじゃよくないんですよ。
0:22:52	普通はそのSFPはその蒸気分圧分だけ蒸発して逃げちゃっていくので、それってというのは予測されるものだから、例えば何週間に1回とか1回1回とか、このぐらい水が、
0:23:07	落ちるだろうという予測があって、そのタイミングで、通常手順として補給をするということをやっているんでその範囲内である限りは、通常運転状態というふうに関西電力は認識して、
0:23:24	通常操作として、操作をしているだけですと、そういったところをしっかり書いてくださいっていうそういうことですよタケダさん。
0:23:34	はい。そうです。
0:23:36	そうですよねだから通常手順だからここは関係ないって単純に書いてあるだけじゃ駄目ですよ。
0:23:43	丁寧にちゃんと説明して欲しいと思うんですよ。
0:23:47	はい。その通りです。
0:23:49	はい、関西電力さんその辺のところを踏まえて説明を補足に入れてください。お願いします。以上です。
0:24:02	はい。監査でのヤマノでございます。
0:24:07	ただいまの御発言いただきました2次系純水タンクのだき棟経由して期生ポンプを使用するという手順が通常操作におけるテーマであるということと、通常外という概念というか定義ですね、通常の蒸発量を
0:24:24	小保内補うものであって、頻度としては、どれぐらいのものであるのかといったようなことも踏まえて、こちらの資料のほうに補足として入れさせていただくというふうに理解いたしました。それでよろしかったでしょうか。
0:24:39	規制庁のタケダでその通りで蒸発量からどれぐらいって具体的に実績もあれば実績も含めて入れていただいでください。

0:24:51	承知いたしました。
0:24:54	それではですね実績もございまして、資料のほうに反映させていただきたいというふうに考えます。
0:25:02	今我々が掴んでいる頻度等ではですね、
0:25:09	時期の方でお調べいたしましてですね、適切に反映したいというふうに考えます。以上でございます。
0:25:18	規制庁の武田です。次のいきますと、今回流量のケース において、
0:25:28	えっと大容量ポンプ用及び放水砲を用いた
0:25:33	航空機衝突による航空機火災。
0:25:37	いうの方ほう性についてを想定するというに記載されているんですけども、
0:25:43	て住所を含めて、具体的に資料。
0:25:47	3 の
0:25:49	73 ページを開いていただきたいんですけども。
0:26:00	はい。
0:26:03	そう 73 ページの提示を見ても、これの増えた分増流量超過に関して、航空機火災の放水に限定された。
0:26:18	記載になっていないんですけども、具体的にないことと、あと設置許可基準 54 条 2 項に係るとの関係について整理がなされていないような気がする来整理がなされていないので、この辺りを説明してください。
0:26:42	関西電力のヤマノでございます。
0:26:45	ただいま
0:26:47	お問い合わせの件でございます。どんどん 73 ページということございましたけれどもこれ
0:26:53	大容量ポンプを使う。使って放水砲による放水を行う手順として、整理されておりますもので、ちょっと縦横の落ち込みまして、御説明さしあげたいので、ちょっと戻っていただきまして 66 ページを資料 3 - 66 ページから
0:27:09	御説明していただきたいというふうに思います。
0:27:14	お一方が書いてあるのであればこのピット
0:27:18	66 ページはですね。また 66 ページと 67 ページの 2 ページにわたりまして、
0:27:29	この降水の判断基準とかどういった場合に、この手順を使うのかということが書かれております。この構成といたしましては、三つの事象を想定しております。
0:27:43	66 ページと 67 ページにわたって三つの事象が書かれております。この三つの事象が起こったときにですね、以降 68 ページから使うビジョン、これは共通する手順となっておりますけれども、一つの手順を進めると。
0:28:00	いうふうになっております。

0:28:03	それで、準備を進めていた結果ですね 73 ページまで行きまして、
0:28:12	確認及び注意事項という欄にですね、こういったときには、こういった目安で肯定しますよといったようなことが書かれています。
0:28:23	いうふうな表現になっております。
0:28:25	明確に分けていないというのはですね、手順等々共通のものにして現場のほうで迅速確実に対応できるようにしたいという思いからというふうになって我々は考えております。
0:28:43	そして 54 条 2 項への対応との関係性でございますけれども、確かに 54 条 2 項との整理というのは、このページの中からは読み取れないんですけども、我々としては同じく燃料ピットへの降水の手順と同じ基準を使うと。
0:29:02	ということからですね、
0:29:04	確かに 54 条 2 項の対応ではないものの、これらについても、その手順の中でですね、同じ配置レイアウトで行われるものという手順に従って、公立べきものというふうに判断して、こちらを
0:29:20	不確かさとして見るという判断をしているものでございます。
0:29:25	以上です。
0:29:28	規制庁の武です。73 ページのところなんですが、
0:29:34	これによると目安としか書いてなくて、そういう意味で、ヤマノなさいっておられた目安としか書いてないと、そういう意味なんで、これの手順によると、
0:29:49	具体的に大容量ポンプを用いたときの流量低のあくまで目安なんで、実際にはそういう SFP においても、
0:30:02	かなり大容量でその条文放水することは悪影響手順書上可能だと思っておりますが、
0:30:11	そこら辺の考え方について説明してください。
0:30:18	はい。
0:30:20	関西電力のヤマノです。
0:30:22	° 流量の増加分に関しましてはですね。
0:30:28	資料 1 の右肩 7 ページ目に、先ほどの表でございますけれども、こちらのほうに書かせていただいております。
0:30:37	下の表でございます。手順の一番下ですね、大容量ポンプ過去放水砲による放水というところの不確かさを考慮した流量としまして、目安として各先ほど手順の中に書かれていた以上の流量が、こちらの不確かさの
0:30:56	高齢者流量のほうにカウントしております。こちらにつきましてはですね、考え方としましては、この大容量ポンプ 2 台を詰めるときの一番大きくなると考え得る最大流量という形で書いております。

0:31:12	ですので現場で目安として使っていたもの以上可能性として、一般の一番出るものの上限をここにこちらに書いているというような考え方でございます。
0:31:24	以上です。
0:31:27	規制庁関です少々お待ちください。
0:31:40	規制庁の武田です。規制庁の武田です。はい、まずですね、ごめんなさい。
0:31:48	三和解除規制庁の武田です。
0:31:53	まずですね 67 ページのところから、
0:31:58	ヤマノヤマノさんの説明だと、使用済み燃料ピットの放水炉による寄る放水が必要と判断した場合ということで、これが
0:32:11	54 条 2 項に係るものになっているってということで、こっからスタートした場合、そう流量がどのように決定されているのか具体的に説明してください。
0:32:26	はい。
0:32:28	関西電力のヤマノでございます。
0:32:30	54 条の 2 項の対応といたしまして、硫の方をどういうふう考えているのかというのを手順すいません資料 1 の右肩 6 ページ御説明をさせていただきたいと思えます。
0:32:46	資料 1 の右肩 6 ページに下側の図にですね、放水砲による SFP へのホームページの例というふうにかかせていただいております。ここで
0:32:59	図に表しておりますように大容量ポンプが 2 台直列に接続されまして、二股に分岐したと交通以降に大によって SFP に向けて放水するという手順になってございます。
0:33:14	ただ、この Tall の上に書いてございます通りですね。
0:33:20	設定を構成する際の放水法の使用台数というのは 1 です。
0:33:25	SFP 一つ当たりに 1 台とするということを定めております。このため大容量ポンプから出た流量が二つに分かれるとつまりハード部分の最大量の半分の流量が一つの SFP に流れ込むということを想定しております。
0:33:43	それがですね。
0:33:54	若くて、同じくその時の右側に書いてございますけれども、大容量ポンプの予定曲線でございます。こちらの枠囲みの中青字で書かせていただいております通り放水砲時代による設定の流入量というのは、半分で強く端部で考えますということが書かれて書かれておりますっていうのか。
0:34:14	伊方については以上でございます規制庁の武田です。ええと手順上どういふふうにかいているかと私は青木さんですが、規制庁鈴木です。タケダも含めたのはですね資料 3 の
0:34:27	68 ページ以降で、

0:34:30	二股で片っぽだけしかかからないかどうかっていうところが、手順としてどのように読んでいけるのかってところをたどって説明して欲しいとお願いしたのでそちらをね説明してもらえますか。
0:34:45	関西電力ヤマノでございます。大変するいたしました。それでは資料3の66ページ以降で提示についてどのような考え方がされてる方のかということで説明させていただきます。
0:35:00	一つ目のピットへの法制の手順というのは、この手順、三つの事象のうちの共通するページで進めるというのは先ほど御説明した通りでございます。準備進めていってですね、
0:35:15	73ページ目以降にですねよ違法性の手順という形で打っていくわけなんですけど、こちらのナンバー2のほうに書かれております。
0:35:28	すみません枠組みの中での明確に海読み上げることにはできないんですけども、向性目安が書かれておまして、確認及び注意事項の欄にですね、具体的にどのような流量をどういったときにするのかということが書かれております。
0:35:48	73ページ目の下側ですね、確認及び注意事項の欄の括弧放水量目安というところからところに、それが書かれております。その下、下側のaポツで、原子炉補助建屋というところから始まる一文が、
0:36:06	その該当するところでございます。これに基づきまして先ほどの私の説明につなげていただければというふうに存じます。以上です。
0:36:15	規制庁の単位で全長タケダさんお願いします。
0:36:19	すいません、規制庁の武田です。えっとですね。ええと大容量負のほうの手順を見ている見てもうをもって見ていると放水砲1台でもええと1台分のデータ等、
0:36:35	放水量が出てしまうっていうのは、放水砲のつっすペックからは出るっていうことを確認していることはことを含めてSFP1台の放水法っていうのは確かに基準に書いてあるんで、放水砲2台を使って1台で1台分放水するっていうのは、
0:36:53	手順には書いてあるんですけども、この定置を見る限り、下手すると2台Aと放水砲1台でつないだ場合、2台分の流量が出てしまうということが考えられると思うんですけど。
0:37:08	手順省庁からは、目安塩5名の周辺か、火災時の目安値に関して、出てしまうことが考えられるので、
0:37:21	この流量に関しては大規模火災とかではなくて実際の流量としての不確かさとして出てしまうんじゃないかと考えますが、それに関しての考えを説明してください。

0:37:34	ちょスズキちょっと追加します。
0:37:37	まず、
0:37:38	時へ政府性にSWISSするんだって最初の 67 ページで決めた後、
0:37:47	その場合は、大容量ポンプ車を直列にでつなぐのはどういう事象でも変わらないで先ほど説明でしたけど、
0:37:55	そのあと放水側に向けて二股を入れて、放水砲 2 台使うってところが具体的にどこに書いてあるのがちょっと私読み切れないのもっかい層厚追加で説明してください。
0:38:22	関西電力のヤマノでございます。まず一つ目、タケダさんからの
0:38:29	御指摘でございます。ご趣旨としましては、
0:38:35	当大容量ポンプだから出口からですね二股にもしもならなかった場合 1 台、1 年しか繋がらなかった場合に、それだけの流量が出るんじゃないのかという御懸念かとおっしゃる理解しておりますが、
0:38:51	手順上はですね、
0:38:55	60、
0:38:57	8 ページ。
0:38:59	ナンバー 2 の中で書かれております。添付図を参照と確認及び注意事項の欄に添付図 1 を参照して排除しなさいというふうに書かれておまして、これがですね 77 ページ目に書かれておりますものです。
0:39:16	すべてはこちらに基づいて
0:39:20	高浜 1 号機を 1 号機の発災後の場合とかに大きな差異はないとか、みたいな形ですね、ルートのほうが決められるルートと、あと設置場所ですね、こういったものが決められるということなので、ここはもう一つしか繋がらないというようなことは、まず、我々想定して考えていないと。
0:39:40	ということというのが回答になります。
0:39:47	続きまして、二つ目でございます。
0:39:50	少々お待ちください。
0:39:57	まずあの程度二つ目、そういったからのご指摘でございます。先ほど
0:40:04	回答を先に申し上げたような形になりますけれども、どうやって二股のほうの指示がなされるのかというのは、同じく 68 ページ目ですね、確認及び注意事項の欄に、添付 1 を参照して徹底ありがたいと。
0:40:20	いうところでもってですね、担保されるものということになっております。ただ
0:40:28	同じく 76 ページ目にですね大規模火災のときもですね、
0:40:34	それが載っておりますが、こちらにつきましては、分岐させずに、一つのラインで 1 台の校正合でということがこちらでは読み取れるとこの年物 11 とかですねこういった概要図、あとは現場での

0:40:51	指揮命令判断ですね、そういった
0:40:55	対応者の力量といったもの、あとは様々な訓練ですねこういったものを通じて、これらが適切に行われるように、現場のほうで対応しているということになっております。
0:41:05	回答は以上でございます。
0:41:10	規制庁の武田です。一応スズキです。
0:41:14	七十六、七十 78 人。
0:41:17	見ればわかるように書いてあるって言ってるんですけど例えば
0:41:22	77 ページについて言うとタイトルは、
0:41:28	火災への泡消火配置図となっていて、これ二股を入れて、
0:41:35	やってる絵になってるんですけど。
0:41:40	その話と、76 ページの話っていうのは、
0:41:45	何か使い分けられるようになっているところなんですか。
0:41:50	具体的には私聞いているのはSFPへの降水。
0:41:54	ていうのをどこでどういうふうに
0:41:57	読めるようになってるのかって聞いているんですけども、
0:42:41	規制庁SSS聞こえますか。
0:42:45	はい、関西電力のヤマノでございます衛星いたしました。少々お待ちいただいでよろしいでしょうか。
0:42:52	はい。
0:44:02	前回、
0:44:05	また電力のヤマノでございます。大変お待たせしました。
0:44:11	手順上にですね、
0:44:14	添付 1 を参照しながら、機器の配置等を行いなさいということが書かれていて、添付 1 を見るとですね、これはすべて共通する手順の総括した図が書かれているということになっております。これに基づきますと当然
0:44:32	二股で設置するっていうのがですね、
0:44:37	見て取れるかと思えますけれども、これは、
0:44:43	1 点とすべて何とも言われたすべての可能性を踏まえたルート配置になっておりますので、共通する基準に紐づくものとしてはこれが最大限のものとしてという意図ですね。
0:44:58	今日ついてつけていると。
0:45:01	ということになります。
0:45:02	一方で、じゃあ火災のときはヤマモトにするのかということではなくてですね、76 ページにあるような一つの系統で一つのラインで 1 台のご都合でやると。

0:45:16	ということが現場のほうでは指示なされるということでございます手順の中でそれが明確化されているのかというと、あくまでも共通する手順というふうになっているので、そこまで明確なものがないということになっております。
0:45:33	規制庁鈴木です。まず
0:45:36	火災のときに二股にするかしないかっていうところは手順上はどちらにするかわからないっていうところがわかりました。
0:45:44	なので、現場の判断によるものだけなので、そこら間違える可能性があるから不確かさとして取り入れますっていう、
0:45:53	ことであるとすると、それは順序が逆で、
0:45:57	手順をちゃんと定めるべきじゃないんですか。
0:46:24	関西電力のヤマノでございます。次格用船火災のときとですね、
0:46:32	ルート等がですね、70先ほどから申し上げております。資料3-76ページ目の図にある通りですね、
0:46:42	あいつのルートの一つの場の分岐させないルートで1台の防水構造であるというのが、
0:46:49	これも一つの手順の中のものでございますのでこういったことで、こういったところでですね、きちんと押さえられているのかと。
0:46:57	いうふうに思いますけれども規制庁スズキです。76ページに塩素G1だっって入ってないですよ。
0:47:08	77ページと78ページの所添付図11-1と1-2って書いてあるけど、タイトルは、
0:47:15	火災ですよ。
0:47:19	で、
0:47:20	Q昨日米印のところ、
0:47:22	家財じゃない。
0:47:24	所に移す場合の注記が若干書いてあるけど、二股西するかしないかっていうところはどこにも書いてなくて、
0:47:35	ちょっとしっかり書かれてるって言うところがこの資料の抜粋の仕方が悪くて、私が今読めないと言っているのか。
0:47:46	そもそも手順のやっぱり曖昧なのかどちらなんですかね。
0:48:34	パパ電力ヤマノでございます。少々お待ちください。
0:49:38	関西電力のヤマノでございます。
0:49:41	ただいまの御指摘をいただきましたところですね、
0:49:46	確認いたしまして、確かに手順上ですね、そここのひもづけているといった配置図と配置図ですとか、そこら辺のタイトルとあと手順の方との明確なリンクというか、

0:50:02	1台2台どうとるのかと書いたところがですね、タイトルもちょっと
0:50:09	おかしなところがあるのかもしれないですし、あと我々が今回抜粋させてもらったところですね、そういうところを読み取れないような可能になってしまった原因かもしれませんので、この辺もう一度、整理いたしまして、御説明させていただきたいというふうに思います。
0:50:26	それでよろしいでしょうか成長鈴木です。資料直してください。それでですね先ほどの口頭の説明では、資料上は火災の場合とFP放散のためにCV掲げるところと、
0:50:42	SFPいえ補助建屋、ああの損壊とか、SFPのところの掛けるこの三つのパターンで使い分けられるように、手順上はしているんだとそれがきちりできてるかどうかは、もう一度確認してもらおうとして、
0:50:59	関西電力はそういうふうにな手順書を書き分けているつもり。
0:51:04	いるってことなので、そうすると最初に使用済み燃料ピット等への放水っていうのを選んだときにですね。二股ああで分けて1放水砲2台つなげて、
0:51:19	1台分しか向かせないよっていうところが手順上あらわれてきているにもかかわらず、そのところをケース、資料2のケースのところ、不確かさとして入れる理由っていうのをもう一度説明して欲しいんですけど。
0:52:32	次に関西電力ヤマノでございますし、もう少しお時間をください。申し訳ございません。
0:52:46	規制庁そういう計算現状またそこんところが明確にできてないんであれば先ほどの資料の修正と合わせて、もう一度説明していただければ結構ですので、その時に合わせて、
0:53:01	大規模のときって、
0:53:05	これまでの関西電力の説明だと多分ASNの定義に要するに今ここで示している66ページからの
0:53:16	手順書等特段何も変わらないということなので、大規模として扱い、
0:53:25	暑かったときに当行推本の流量っていうのを、
0:53:30	ある程度こう自由度を持って運用するっていう観点から不確かさを見込むべきかどうかっていうところをやはり
0:53:41	入れるべきではないんですかね資料2のほうでっていうところも含めてちょっと再度説明をお願いしたいんですけど。
0:53:54	関西電力のヤマノでございます。
0:53:57	スズキ社の主要仕様整えてからの方がよければ、届いて改めて結構ですよ。今ここで曖昧なことを言うというよりか、
0:54:11	承知いたしました。もう一度整理させていただきまして、検討結果のほうお示したいと思います。よろしくお願ひいたします。あ、すみません、関西支社関連

	のシムラです。追加ファイア今おっしゃっていただいたその質問の最後のところと
0:54:27	ちょっと確認をさしていただきたいんですけども、今おっしゃっていただいたその第1項総務会議のその流量の
0:54:38	柔軟性といいますかって言うところもうあの資料に入れるべきなんじゃないかという御発言があったかと思うんですけど。
0:54:46	ましょそちらにつきまして、
0:54:50	その意図なんですけど、
0:54:53	一応今回我々資料2のケース1というところで、
0:55:00	また、考慮するしないは再度ちょっと検討させていただくんですけども、大規模損壊の際に発生する、大規模校区い値を想定した場合の
0:55:14	溢水大容量ポンプや遅いほうの設置とそのポンプをした場合の流量がどれくらいになるかというところで不確かさを考慮したケースとして加算をしているわけなんですけども。
0:55:29	ある意味その第1にご参加1の流量という点ではこちらで包含できているのかなと考え、
0:55:40	でございます。一方その
0:55:43	第1、次様がおっしゃったその
0:55:46	流量の10柔軟性っていうところがですねちょっとちょっと意図が
0:55:53	掴みきれなかったんですけども。
0:55:56	委員長鈴木です。まず科医地域のパターンとして、ケースの解析条件のパターンが、
0:56:05	系統解析がされていれば、不確かさについて確認することはできますよねっていうところについてはオッケーです。ただ、C、
0:56:19	資料2の中でそれをケースに入れるものなのかどうかっていうところをしっかり説明を整理して説明してもらいたいということですね、柔軟性って言うのは、
0:56:29	大規模損壊の手順とSAの手順、54条の手順と大規模損壊の手順というのは今関西電力のこれまでの説明だと一つにまとめていますって言うわけですよ、まとめたことによって大規模損壊の話っていうのは、
0:56:47	66ページの
0:56:56	一方で67ページについてはこれ54条ですと、
0:57:01	いう話になるわけだから、大規模損壊大規模損壊としても使い分けられるようにできてますっていうのであれば、
0:57:09	大規模損壊のケースとして、どの手順を踏むべきかっていうところが明確になってるんだったら名拡散をもって解析条件解析ケースっていうのを、

0:57:22	決められればいいんじゃないんですかということをお願いなんですけど。
0:57:27	浅い連絡シムラですありがとうございます。やはり
0:57:33	前段のほうで整理するというのでいただいたものを
0:57:40	54条2項のトピックの構成の対応なのかそれともその大規模のようなものがここが発生したときの手順なのかっていうところで、ロシアの我々が切り分けるのであればそのパターン1でも、
0:57:55	考慮すべきなのはその大規模損壊のものを除けているのか、54条2項の対応に係る流量の不確かさの出ているのかっていうところで
0:58:08	おっしゃられていただいたようにパターン1にするのか大京損害ケースにするのかってところが変わってくると思いますので、そちら改めて再整理をしたいと思います。ありがとうございます。
0:58:20	低調スズキです。私の意図は伝わったと思いますけど、本庁側のほうはどうですか。
0:58:29	すいません規制庁フカボリです。せっかく血糖1の
0:58:35	。
0:58:37	すいません規制庁フカボリですねと資料1-6ページありますよね。
0:58:46	6ページ目のしたね、放水砲によるSFPSFPの放水時の例というのがあるんですけども。
0:58:54	これがSSPへの放水のSA手順になっていて、それと放水砲としては、
0:59:02	二つに分岐して片方側で1台分しか/提案方要するにセーフティーには注水しませんっていうのが基本の手順になっているのであれば、それを基本ケースとして解析すべきっていうのが、
0:59:18	我々の考え方でもしそれプラス、不確かさとして、もう一方ある大容量の2代目のところからもう一方に、
0:59:33	建屋のほうにかけるっていうようなものを不確かさ等を考慮するんだっていうのであればちゃんとそれは大規模損壊のところの見合い分としてふやすっていうその考え方をちゃんとクリアにしてくださいっていうのが、
0:59:49	我々の考え方、それがもし手順としてちゃんと書けるのであれば要するにこの6ページの下%のように手順としてもちゃんと決まっているんだっただらば、ページングをちゃんと書けばいいんじゃないかって思うんですが、関連3はどうお考えでしょうか。以上です。
1:00:16	関西電力のヤマノとかスズキです。
1:00:19	効率は今のところも含めてまとめてくださいってことですよ。
1:00:25	そうだそうです。はい。
1:00:27	今ここで説明聞いてくださいって言ってるわけじゃないですよ。

1:00:34	規制庁の武田です。その通りです。何で手順をちょっと整理して上で、もう1回ちょっとこれ、説明次回のヒアリングなると思いますが、説明をしてください。それで考え関西電力はいいでしょうか。
1:00:54	関西電力の山本でございます。承知いたしました。次回の来この辺すべて整理いたしまして、御説明させていただきます。よろしくお願いいたします。
1:01:05	規制庁の武田です。了解しました。で、参考としてちょっと教えていただきたい。
1:01:12	もし大規模化火災のことでやると、火災の場合は東亜は今後気を使うって書いてあるのでは混合機の当放水に関する詳細ももし、それで整理ができなかったんでできなくて航空機火災の方に
1:01:29	話会见であれば、泡消火器による具体的に放水の絵と放水砲の広がり方も変わってくると思うんで、そこら辺の資料ももしあるんであれば提示してください。
1:01:41	何で次回のヒアリングまでに資料を準備して説明してください。
1:01:52	電力のヤマノでございます。
1:01:56	大規模火災のときの通り没水の広がり方等々ですね、考慮したもので
1:02:06	できる限りのご用意させていただきたいというふうに思います。
1:02:10	以上です。規制庁の武田です。そういう手順に行くんであればですね、何でこれに関しては、当水分量に関しては、次回またヒアリングで資料出していただいて、
1:02:24	していきたいと思ってます。次に燃料棒部分に入りたいと思います。燃料部分に関しては、解析資料4の戻りまして1ページのところで、各種に関して、
1:02:41	核種を絞るっていうことになっているんですが、これに関して、ちょっとヤマザワの方から当庫
1:02:48	セキがありますんでよろしくお願いいたします。
1:02:51	この規制
1:02:53	いいですか。
1:02:54	はい規制庁山本です。今燃料条件についてですねお答えいただいている核種選定の話で、具体的には、資料1のIAEA右方、1ページに書かれてますように、
1:03:08	いろいろ計算をした上でFP核種が実効増倍率に与える影響を見て、十分に有意な差があるものだけを選んで、あとは入れないという道州理解いたしまして、その結果核種が減っていると。
1:03:24	それは逆に減らした部分は保守性を持たせたというふうには理解しておりますが、それでよろしいでしょうか。
1:03:33	加力のシンムラです。その通りでございます。規制庁ヤマモトですが、この点につきましては理解いたしました。

1:03:41	後半というかですね
1:03:45	確かにその効果があるものを落とすというのが合理的だと思うんですが、裏腹にですねいわゆるベンチマーク実績があるものでないといけないということはずっとヒアリングでも、
1:03:57	いろいろと協議させていただいたところなんですが、その中でベンチマークといってもですね例えばデータ数の多少っていうのがあるわけですよ例えば対応にデータがあれば当然信頼度の高い主要倍違うさせるとかということもありますし、
1:04:13	もしデータが少なければですね、込ま偶然まあそういうものが出たという可能性も排除できないと、さらに実験の精度というのも気になりまして、では実験もあれば精度のある実験もあるとかそういったものが事故解析データとかでもあるわけですが、
1:04:32	こういったことを総合してですね仮に反応度が大きいものというもののベンチマークがもう一つ、検証データが支出が良くないというのもあり得るかと思うんですが、今回この核種を選定される上でですねそういったそのバランスといたしますかですねそういったものが考慮されたんでしょうか。
1:04:59	関西電力のシミュラです。オーテックって今を
1:05:04	おっしゃっていただいた便秘ますその他というのは、我々が実施していたままでSCALESsの臨界計算コードスケールの話ということでおっしゃっていただいていたということによろしいですか。
1:05:19	規制庁ヤマモトですが、ちょっと説明が舌足らずなっちゃいますよ、これはSCALEといたしますか、いわゆる燃焼ベンチマークですかね、2本ともSFPポンプとか、そういったものを含めてですが、それについてFS、FPの核種、
1:05:35	塑性に対する使用ば という意味でございます。
1:05:42	大変力のシミュラ別
1:05:46	これ燃焼計算のベンチマークっていうことになりますと我々が収集してPhoenixPという印象計算行動の誤差の話なのかなとおっしゃっていただいたのかなと考えてございまして、低そちらですと、3、
1:06:03	資料1-3 ページ目4 ページ目にお示しさせていただいてるような
1:06:11	内容になったと思いますし、ですね。
1:06:16	一応前回の会合の中で、
1:06:22	燃焼計算の妥当性というところはなかなかまた確たるものとして設定するということはちょっと難しいんですけども、PIEEEとの差をまず比較をしてみてそれが実効増倍率に
1:06:38	どの程度機のPIとの差によって、

1:06:44	体系の実機整えが時コード倍タケダ聞いてくるかっていうのを今後議論というところになったかと思います。それですね、なので、
1:06:56	3 ページ目になるんですけども
1:07:00	今回、我々国際的なプログラムの中で取得されたPIの
1:07:07	結果、
1:07:08	ですね、
1:07:10	二つの国際プログラムから計四つのサントリー諸元を持ってきて、それに対してフェニックスで
1:07:19	計算資料概要をまとめているというところでございます。
1:07:24	はい。
1:07:25	ただこれがどれぐらいですね。ピットの体系に影響を与えるかっていうところというのはこの資料がいいかというだけ離れているかというだけでは、いうことができませんので、4 ページ目になりますけども、
1:07:43	この使用場合というあたり。
1:07:46	が仮にというところで、ピットの体系に厳しくなるような方向にすべて発生をしましたという仮定を置きまして、その場合にはどれだけえピットの体系で
1:08:02	指定いたしました、とびあ委員との比較として得られたCOがいいわたい、誤差ですね、こちらが
1:08:12	ピット体系の実効増倍率を厳しくする側にすべて発生しましたと。
1:08:18	いうことを仮定した核種組成を設定してあげることで、通常時そのフェニックスPでの解析結果をそのまま使った場合と、
1:08:31	厳しい核種組成を設定した場合の実効増倍率をそれぞれ比較しまして、どれぐらいの差が出るっているかというところを計算して参りたいと考えてございます。
1:08:44	今回その4 ケースしかご提示まずその仕様がいいの結果としては4 ケースしか結構提示ができてないんですけども。
1:08:58	はい。
1:08:59	PIというところでそんな事件の結果がそもそも少ないということもございまして、
1:09:08	まずそれをその影響というのはカバーすべくですね今回その我々の今申し上げたような
1:09:17	すべての結果を厳しくした場合、
1:09:21	区処生保厳しく設定した場合の
1:09:25	核種組成を設定した上で、実行増倍率がどれぐらい影響を受ける中を見てみようと考えたものでございます。

1:09:34	ただ今回 4 ケースでお示しをしておりますけれども 3 ページに示してごさいます通りシヨウ場合の結果としては、1 位置付近というところの結果を見た場合られております。また
1:09:49	2 ページ目に持った対応してごさいますけども、このマトリックスPというのは実炉で
1:09:56	実はですねいろんな燃焼度の燃料が沢山入っている に対して精度よくこの委員会ボロン濃度というところが精度よく一致してるといってところでこれが一つや二つではなくて通 10 炉心
1:10:12	これまであまりせ実施している中で評価ができていっているということで、
1:10:20	フェニックスとしては、まず問題ないものと認識してごさいます。
1:10:26	長くなってしまうけど以上でごさいます。
1:10:30	規制庁ヤマモトですが、今御疾病ご説明いただいたことについては、
1:10:37	一つおりま。理解いたしましたけど、ちょっと国と気になったのがですね
1:10:43	先ほど 3 ページで周り泊まり部のですね、もので主要ば一応評価されていると聞いているので私もちょっと中身は知りということでお送り時のですね公開文献など見て気が付いたんですがリブについてはですね一応全係数計算されていると。
1:11:04	やはりについては数が合わないっていうか、少ない或いはの解析されていないケースが見られると。これ例えばなんかありゃんのですが、特定の実験データ誤差が大きいのがわかっているとか、
1:11:19	或いは何か物理的にその説明可能な合理的な理由があればですね、そういうことも可能かと思うんですが、基本的にそういうことがない限りはすべての実験をデータをですね、当然吟味すべきだと私は考えておりますが、その点いかがでしょうか。
1:11:40	使って、
1:11:42	関西電力の規模から見ると、3 ページの表のことをおっしゃられてると思うんですけども、こちらについてはですね、まずリムってというのが燃焼度どう
1:11:58	これはここに書いてます通り約、70 人が合意豊かごめんなさい。この三つの燃焼度をもうについて警察がなされていると。
1:12:13	我々なりにテーマにしてます対象燃焼同法に照らしてですね、少し大きなところに負けてるかなというふうに感じてますので、もう少し低い燃焼度のところのデータはないものかと。
1:12:30	いうところじゃべって見たところ、あり後の付議の燃焼度のものがデータとしてありましたので、それを対応してこの 4 ケース。
1:12:45	空冷持ってXの妥当性を調べてみたというところでごさいます。

1:12:53	規制庁円をですか。今の御説明ですとありあのについては燃焼度がターゲットに近いからということで選ばれているということとしたらあまり部のほうも同じような発想でいくと。
1:13:04	一番燃焼度低いかなりかけ離れておりますが、
1:13:09	非常に大きいのもありますよねそれも含まれている1問のちょっと説明が
1:13:15	何といたしますかできていないような気がするんですが、そこはいかがですか。
1:13:21	浅い電力のフクハラです。
1:13:27	関西のシンムラです。
1:13:29	えーとですねその今回の1ケースしかお示していないとのプログラムの方のPIの結果というのが今回の我々が設定する。
1:13:44	22次側の燃焼度等同等だからやったというわけではなくて、そこちょっと訂正をさせていただきたいと思えますと。
1:13:55	もともとにるといふ失礼してと。
1:14:00	3ケースを示しているあまりについては、
1:14:07	比較的PIの結果が妥当であろうというのはこのプログラムというのは三つのラボが参画をございましてそれぞれがそれぞれのやり方をクロスチェックしながら、
1:14:21	そのPIの手法ですねそれをクロスチェックしながら進めていくというところで、PIの結果でとしては制度があったからということで、まずこの三つに対して
1:14:36	ニックスでのその比較を試みたというものでございます。この三つを並べていただいたときに、高燃焼度も
1:14:46	燃料が多いのでそれと少し離れている燃焼度としてこの
1:14:54	おんなじ今実はこの二つの国際プログラムの楽しくそれでは試験入手された照射された現象というのが同じ現象でございますので、まずそのNECおんなじプログラムば同じ原子炉で燃焼した燃料、
1:15:12	且つちょっと燃焼度な毛色が違うところが一つ。ピックアップして今やってみたといいですか、それが
1:15:21	この1件する。
1:15:23	を見たご提示しているというところでございます。
1:15:28	規制庁案をですね、今の御説明をまとめますと、あまり部で測定された形成については、制度がかなり信頼できると。
1:15:36	ところが同じ色では照射された、或いは案の1ケースについても計算については、どうもあやしいとだけれども選定された1ケースについては、
1:15:48	入れると中身損してるような気がするんですねもしあるイワノのデータが一切使えないことなものであると判断されてるんであれば、あまり部だけで議論すべきだと思いますが、そこはいかがですか。

1:16:06	関西のフクハラです。すいません。なんか武道下屋う違うって言うてるように大きく超えた同じこと言ってます我々の考えが変わってなくて参るというのが比較できまし内容とかそのまま国際プログラムとして、
1:16:26	のデータとしては得られているんですけども、
1:16:32	はい。
1:16:36	それでは燃焼度があったか目のほうにちょっと偏ってしまっているのもう少し我々がターゲットにしている燃焼度動に近いものはなかろうかというところで調べて他に何かで探したところ、このあり案っていうのが少し我々がターゲットにしている燃焼の近いデータ
1:16:56	ものですから、それについても、もう1点られて減額してみようとを計算してみようというのが今回の案でございます。
1:17:07	規制庁提案音ですが、
1:17:10	そのデータをですねどう扱うかということについては正解はないと思っていて例えばあり案の結果が悪いとしてもですね、誤差が大きいことを前提に考慮することは可能だとか、或いは丸文の結果がよければ重みをつけて、
1:17:24	それを引き出せるような処理は可能だと思うんですよ実験もさがこれ入っていないのが気になっていて、例えば4ページでですね主要ば1を使って、
1:17:38	やられてるんですか平均というか、最大値だけを取ってやられてるようなふうに見えるんですけど、実際のところを見ると、それぞれの実験データの誤差があって、しかも誤差があまり部等あり案で違うという話になる。
1:17:53	あと、当然3号に入れてですね実験誤差も含めた評価をしないといけないというふうには私は考えてますが、その辺はいかがでしょうか。
1:18:04	はい、その関西電力のフクハラです。ここの
1:18:10	テーマっていいいますかPIの結果と比べてみましようっていうのは私の理解は前回の会合等からですね、ご指摘いただいてやってるところであるんですけども、
1:18:27	我々の思いとしては今PIって今おっしゃられたように、事件が非常に大きく含んでいるものですし、それが阿蘇清かのように扱うっていうのは少し違うんじゃないのかなっていうのは正直思っています。
1:18:43	とはいえ、実験は実験一つの実験結果として、それなりのリスペクト払うべきだろうとは思っていますので、試し水たまりですけども、我々の計算結果踏査結果が添付1しているのかっていうのを見て日本ということをやったものが本日の資料1、
1:19:03	の2ページ3ページというページで、それにバック着火3ページ目と4ページ目にまとめさせていただいているものでございます。そのためにやってるか

	っていうと、この中に数というコードの妥当性を見るための一つの傍証としてAPI
1:19:23	でも比べてみますというところなんですけども、我々が考えています。このPhoenix Bのは妥当であることの一番注意事実というのは何かと言うと、この日本の主要なポイントの2ページ目にお付けしています。
1:19:40	学校の新設計ですっともう何十年も使ってきているPWRの多数の御審議において、
1:19:49	計算結果がほぼよく一致している安全良好に原子炉運転できてきているということが他のこの坑道の妥当性を示すものだと思っていますので、あくまで今
1:20:02	このPIとの比較っていうのは単なる参考なのかなというふうに我々としては位置付けているところでございます。
1:20:11	規制庁なのですが、私もですね市
1:20:15	燃焼に対する実験誤差の大きいというのは私も重々承知してますし、
1:20:21	結局何といいますか、設計レベルのですね細かい誤差評価までは麻痺する必要はないと思っていますが、一応感度解析とはいうものの、どの程度の誤差があるかというのを見るための
1:20:37	計算ですので、少なくとも実験誤差を無視するというのはちょっとあり得ないかなと実験誤差も含めてもこの程度なので大丈夫ですという回答であれば納得できますが、最初から実験誤差無視して商売だけ。
1:20:52	で議論するというのはちょっと乱暴かなという気がするんですが、
1:20:58	下階電力のシミュラでございます。
1:21:01	そうですね等おっしゃられるようにこれGO場合はノミナルの辺りでございましてその実験、意見書等々からくる実験所報等から来る、不確かさというものがございしますのでそちらは
1:21:18	ご指摘へいただきました通り今後
1:21:25	不確かさも考慮した値にこのCOがいいというのと少し書きかえまして再度御提示をしたいと考えてございます。
1:21:33	期生点お尋ね了解いたしました。
1:21:37	規制庁、
1:21:43	関西電力シミュラですけれども、一応
1:21:47	はい。
1:21:49	そうですね、今の先ほどのですね我々その二つのプログラム、周り集まり部というところで、英語も提示をさせていただいてございますけどもヤマノさんがおっしゃっていただいたように、
1:22:05	にるの方が

1:22:07	小坂小さくあろうというところは我々としても考えてございましてであるならば、まずその精度のいいところの結果でもってある程度論じるべきかなともございます。思いましたので、
1:22:22	次回のヒアリングで御提示させていただくところは
1:22:27	ちょっと再度検討させていただきたいんですけど割引に出資ボール
1:22:32	死亡かなとも考えてございまして
1:22:36	あとは
1:22:39	先ほどのその誤差のところでございますけれどもそちらにつきましては、
1:22:45	その実験先ほど申し上げた実験手法から来る誤差でございますね、そちらはしっかり
1:22:52	示した上での使用が引用させていただきたいと考えてございます。
1:23:00	以上で、
1:23:01	宮中ヤマモトですが、その後方針で進めていただければと思います。以上です。
1:23:07	規制庁の武田です。ちょっとまずSAPとしては、表の資料2の表をまず完成したいので、そういう意味で核種選定において、今回、それを幾つかの核種に関して落とすってことに関して、
1:23:24	これに関しては特に問題ないと考えていいのかっていうのはヤマモトさんいかがですか。
1:23:31	規制庁ヤマモトですが結局それは全部保守性保守側の設定になるので、
1:23:38	特には問題ないかなと思っています。
1:23:42	規制庁の武田です。皆さんはいかがでしょう。
1:23:50	大ミヨシの要する減らす分には、その方向については特に問題ないってうかそれ。
1:23:59	妨げるということはないと思うんです。
1:24:08	規制庁の武田です。そういう意味で減らす方向でいくということで完済で電力の方の見解はいかがですか。
1:24:18	と考える力のシムラで生徒我々の見解は今、資料2で御提示している通り
1:24:25	減らした状態で解析をしたいと考えている次第です。はい。わかりました。じゃあ次にごめんなさい、各種の組成の測定誤差とかの
1:24:37	ちょっとお時間くださいすいません。
1:24:42	。
1:24:43	あ、すみませんお待たせしました規制庁の武田です。Tier運動部からもう1個ちょっとコメントがあるんでお願いします。
1:24:50	規制庁ヤマモトですが、先ほどちょっと言い忘れまして申しわけありませんが1点追加させていただきます。

1:24:57	今最初の硫安のがですねかなり 24 ギガに近いということで、
1:25:03	検討されているのでちょっと見落としてたんですが、割分だけになりますとかなり高燃焼度のところにデータが集まった状態になりますんで、それがですねそのままの 24 ギガに使えるというそのエビデンスですねそれを
1:25:19	御説明いただく必要があるかなと考えてまして、それもあわせて今後御説明いただきたいと思います。以上です。
1:25:34	関西電力のシムラです。
1:25:42	それや、そういうAPIの試験となると、高燃焼燃料を燃焼した燃料の試験を使うのが一般的でございましてなかなか中間地点っていうのが、まずなかなか結果としてもないというところでございます。
1:26:01	この 70 期がですとか、すごい高燃焼度の段階にもここまで合ってるということはこの中間地点でもそんなに離れることはないというところが一般的な考え方は思いますけども、
1:26:19	まとめに近い燃焼度のところのものが、
1:26:23	じゃあ、そのエリアの結果としてございますので、
1:26:30	先ほどリーフだけっていうところは申しあげたんですけども。
1:26:35	その近いデータという
1:26:39	ちょっと誤差の大小があるとは思いますが、マニュアルの結果も踏まえた
1:26:47	核種組成の設定をこの 4 ページ目でさせていただくということになるかと考えてございます。いやもう、再度検討させていただきたいと思います。
1:26:59	すみません、関西のフクハラですけども、今ちょっとシムラが言ったのはこのありあてしてしまいましたが、今ちょっと残りますっていう伊藤の発言ベース等々した上で、ちょっと 4 さんのお考えとして、この
1:27:14	PI 結果とのベンチマークをやるっていうことの意義というかがどういうその状態が達成されるというか、こと望んでおられるのか、あまりこれをやった結果がどの程度のものなら良しとするし、同だったらだめとしようというような
1:27:34	非常にみたいなものをういていらっしゃいますでしょうか。
1:27:40	規制庁スズキですヤマモトさ先ほど話したこと言っちゃってもいいと思いますけどね。時間もったいないんで。
1:27:59	次、
1:28:01	それのあるやんのあれですから大体いいデータがあるっていうだけでそれを使わずしても説明は可能かなという気がしてます。それからもう一つ或いはぬのデータを使うということも可能だというのは、要はの実験誤差の差だけなんですよね。だから、

1:28:19	或いは湯ノ岳実験誤差多く見て周りは小さく見てそれで評価するというのも一つの手かというのでやり方としてはあるイワノ入れても入れなくても両方可かなという気がしてます。
1:28:32	それからあとじゃあどこまでやったらいいのかというのはこれは善し悪しは言いませんけれども私の考えではですね。
1:28:38	最終的にどの程度マージンを持たばいいかというのがまずを抑える必要があると思っていて、それが、
1:28:46	感度解析でどういう考え方からですねカンパ最悪の場合の感度解析の結果でもその基準を満たすということが十分満たす或いははるかにマージンがあるということが確認できればそういう十分かなと思ってますので、
1:29:02	どこをもって良しとするかという、どの程度マージンをちゃんと見込むかというのにかかってくるという答え形ができないかなと思ってます。以上です。
1:29:15	はい、ありがとうございます。関西電力のフクハラです。
1:29:22	をしますと、これも我々だけ委員会この批評資料2を固めに行くってことで仕事をしてきていまして、固めるにあたって、いろいろお論理を作ってですねケース分けしたり、こういう
1:29:41	考慮すると、ちょうどするしないってことをいろいろ基本ケースとか不確かさ分けてやってきているんですけども、今おっしゃられてるものいいIEEE等の行動とのずれの砂防っていうのは、
1:29:58	どうこうで、
1:30:00	どこパラメーターに関わってくる話を今論じているのかっていうところがちょっとミヨシかけてるんですけども。
1:30:13	規制庁のミヨシですけどちょっとよろしいですか。今の件含めてお願いします。
1:30:25	沼津そのままリムだけにするか周り案組み替えというのは、先ほどあったように、
1:30:33	それぞれ実験の
1:30:36	制度が違うというふうに今言われてますので、それを号炉コードというか、それを含めて、
1:30:44	中国のノーマル案を受けていただいたほうがいいんじゃないかなというふうに私は思いますが結局、こういう実験、
1:30:52	アリアンツ泊ぶっているいろいろ車で議論してるんですけども。
1:30:58	なぜ、或いはは入ってないのかっていうもし矛盾した場合ですね、なぜ或いはを入れないのかっていう、そういう
1:31:08	質問が出る可能性もあるので、基本的にこの辺についてのデータはできるだけ
1:31:19	入れるということで、

1:31:21	考えたほうが
1:31:25	説得力はあるんじゃないかな。結局はそんなのつつあると思いませんけども、
	やっぱりベンチマークするときに、
1:31:34	どのデータでやるかっていうそのセクション
1:31:38	する場合にやっぱりセクションの考え方をやっぱり書には示していただく必要があると思うので、その辺含めて検討いただければと思います。
1:31:49	それから、解析の位置付けということですけども。
1:31:56	先ほど
1:31:58	基本的には
1:32:01	フェニックス
1:32:02	ですからフェニックス後、
1:32:05	健勝休暇制度については完了の
1:32:09	管理データとのあれで、
1:32:13	業務中心で、
1:32:14	PIについては、傍証傍証的な位置付けではないかというようなそういう
1:32:23	発言がありましたけど、
1:32:25	それと私はそうは思っていないですね、確かに管理データでのあれも示して
	いただいて
1:32:33	整備を
1:32:35	相関というか、
1:32:37	海盆の露頭での比較を、結果は承知してますけども、
1:32:43	今回FPの核種を選定も含めての核種についてどこまで導入できるのかという
	話になると、やはりそれは個々個別の採用すると。
1:32:58	この決めてるですね、決める各所についての
1:33:01	どういや、
1:33:04	日本の濃度のの中にどれだけの表現もさ要因があるかと。
1:33:11	いうことは一定程度検討することは避けられないですね。
1:33:17	疑って、
1:33:19	いわゆる通常の通常るときは
1:33:23	これまでFPを含むベンチマークを
1:33:27	CSP等から選んで、
1:33:30	やっていただきましたけども、
1:33:33	その中で、
1:33:35	今回はもう徹底の高校が線の体験の中で小さいものはまあ除外するという、
	その考え方はそれ結構と思いますけれども、同時にですね。
1:33:48	いわゆる実験、

1:33:51	FPの入った実験データについては、基本的にはFEMも含めて核種組成が分析室等でちゃんと得られてると。
1:34:02	ということでのベンチマークなわけですね。
1:34:04	室蘭の名称、
1:34:07	クレジットとかもこういうものを取り入れた計算というのは理解計算の前にまずはか決定後含めた組成を
1:34:17	名称計算コードで、
1:34:19	評価してるわけですから、その影響はどの程度かという、そういう
1:34:25	検討というのは、プロセスとして必要なわけですね。
1:34:31	そういう意味の作業をしているというふうに考えていただきければと思う。実際ね、このときにこれをどう使うのかという話は、
1:34:43	FP核種の組成の
1:34:47	強化における誤差というのを最終的にどう包化上げるのかっていうのは、オカノものと同じように積み上げる必要は私はないとは思ってますけども、ただ、これの誤差がどの程度の影響を及ぼすのかということについての検討は、
1:35:04	必要で、そのためにやっているということですので、仮にですねまず、
1:35:11	もうちょっと付け加えると、
1:35:14	結局、最終的に臨界計算をベントフィルタ家に対してやるわけですけども。
1:35:20	時に、
1:35:22	結局そこで今回参画するようになってますけども、各主要入れ
1:35:30	武井さんにですね、どの程度の確証の規定の
1:35:35	誤差から来る影響はあるのかということ
1:35:40	検討するという、要は最終的には出てくるんじゃないかと。
1:35:45	が出てくるというふうに思っていると思うのですね、下がって
1:35:50	この上回るシェア割案これ案の結果を用いて、
1:35:56	何分3%とか4%とかなかなかそういう周知が出るかどうかは、実験データの誤差にもよりますので言えませんけども、そういうものをまず出していただいて、
1:36:11	d. 事件誤差が大きいのであれば、今の減現在のそういうPIについてのデータの現状がそういうことだろうというふうにAというほかないんで、じゃそれを感応それでもまだMAAPを
1:36:30	考慮するんだということであれば、
1:36:34	実験データも考慮してですね、PIのPhoenixも
1:36:42	その成果制度の
1:36:45	次に事業ですね。
1:36:47	考慮すると。

1:36:49	どのくらい最終的な結果に。
1:36:52	提供するのとかそういった検討につなげていくものというふうにちょっと思っ て持ってる力に打ち勝って、
1:37:01	共同の
1:37:05	臨界管理の方向での、これが基本で、こちらは暴走だというそういう位置付け ではないというふうに思います。
1:37:14	以上ですけれども、
1:37:17	はい、関さ財源力のフクハラです。御説明いただきましてありがとうございました。 家取引価格が傍証なのかいやそうじゃないよっていうところなのか引き戻 しあの議論させていただければと思います。その一方で、皆さん今御説明いた だいた中で、
1:37:36	これ先ほどのヤマモトさんのコメントも踏まえましてその実験誤差も含めた形 のデータを次回ご提示言わせていただきますけども、それを見たときにこ れ、今日の資料001場合は概ね1付近であったという締めくくりの文章入れて おりますけども、
1:37:56	意見も若干入ってきますと、当然、宍道側のほうが溢れてきますので、その部 分を和夫開始はいいというのもぶれ幅一定のものがさらにもうあのか誤差とし て入ってくることにはなると思います。そのときにどこまで
1:38:13	まだよくどこまで仲良くないって話も議論させてもらえばなと思いますと いうところと、その一方で、
1:38:24	今3核種に絞ってますけども、その結果、例えばよく一致していますよねという ことで、この3核種が引き続き、生き残るといふか、考慮しますよということにな ったときに、先ほど皆さんからの地元の
1:38:43	今後教育をやる結果での新たにも反映するとの誤差分っていうのを、さらに上 乗せする必要はないというふうに私聞こえたんですけども、私も全く同じ考えを 持っております、
1:39:00	あくまで今やろうとしてる作業っていうのは物を確保しを使っていいのかどうか っていうのを見極めるだけの作業であってで使うとなった以上は、その数字を もうダイレクトに使わせていただきたいというのが今、一応我々の考えですの で、そこについて何かいやそれ違うよというのがあれば、
1:39:19	コメントいただけますでしょうか。
1:39:24	ステップミヨシです。最終的にここのあるやんないでもあり部。
1:39:31	いうのを実験データも含めた上で、はい。
1:39:37	対象核種の
1:39:39	結果に対して、例えば10%でいいとかですね、5%でいいとか何かそういう数 字は出るかも或いはもうちょっと大きい数値が出るかもしれないけども、

1:39:51	あとは
1:39:54	最終的には結局、この
1:39:58	核種の組成で創生の強化で、例えば5%だったらですね、基準値に比べてクリアするけども、10%だとクリアしないと、そういうぎりぎりの結果になると。
1:40:13	どうかということだと思んですけど、ですから、ある程度、
1:40:17	込ま98なりを振り替え制限値に対して、そういったものの誤差から若干の組成の誤差から来る影響も踏まえて、もう
1:40:32	一定の余裕があるというそういう判断になるんじゃないかと思います。これは
1:40:38	PIのPIを使った組成の誤差を検討してるわけですけども、
1:40:45	それが今5%なり10%だと駄目だとかそういうふうな設計というのは、今のですね。
1:40:53	いやのデータがーを
1:40:56	使うっていう
1:40:59	使った検証を踏まえて、最終的に
1:41:03	理解を未臨界性評価する上では一定程度の余裕というものが必要じゃないかとそういうスタンプは当然出てくると思います。そういう意味ですね。択足さないっていう、基本的にはそれで。
1:41:19	その影響が非常に最終的な臨界結果の計算結果に大きく響いてくるのか、ちょっと今わかりませんが、それはその結果を見た上で判断するっていうことになるんじゃないかという、そんなふうに私は思ってるんですけど。
1:41:37	はい、わかりました。ありがとうございます。いずれにせよ、まあ結果見てからまたをご披露させていただければと思います。はい。
1:41:47	規制庁の武田です。この件は除く各種の測定誤差等をして関西電力で整理されるということでしょうか。
1:41:58	はい、東京パワーポイントに
1:42:01	いやいやの実験誤差も行えた形のデータを少し拡充して改めて御提示させていただきたいと思います。関西電力フクハラでした。
1:42:09	はい、規制庁の武田です。日
1:42:13	燃料に関係に関してはこれでいいですか、目3密閉ととりあえずいいでしょうか。
1:42:21	はい結構です。はい。
1:42:23	で、今回水分条件に関して手順書2についても1回精査しては関西電力の方で精査するっていうことと、燃料棒部分に関してええと核種組成の測定誤差を含めて整理するという事でコメント。
1:42:38	提示していただいてもよろしいでしょうか。
1:42:42	今からこれと行動共有させていただきますので、少しお待ちください。

1:42:57	加力のシムラ率、今の とボードの方の御提示させていただきます。見え ますでしょうか。
1:43:03	鈴木さん見えますか。
1:43:08	ちょっと待ってくださいね。
1:43:13	皆さん見えます。
1:43:17	＼見ます。
1:43:19	続きですけど見えるけど。
1:43:22	全部は見えないですスマホだと、主催者の画面がかぶっちゃうので、
1:43:30	補足するのかな。
1:43:32	いやいや、いいですよ。農地
1:43:36	小さくしなくてもいいですよじゃあ遠い冷え読み上げてください。
1:43:41	はいえっと二つ目ですけれども、プラント通常状態でせつピットへ注水する際に 実施するエリア下手規制ぼんぼん駐車手順について、当該手順の実施実績 頻度や、通常時のそのピット水位蒸散量等を踏まえまして、
1:43:58	当該手順による流量を考慮しないとした理由を補足することいたしました保 育がこういうよろしいですか目。
1:44:11	はい。特にありませんじゃ次お願い、お願いしま
1:44:15	はい。2 番目手順書類具体的に記載されている内容から各事象に対するライ ンナップが適切に実施できるかを再度整理すること。また大規模損壊を踏まえ た条件を設定する場合の絵の / 先輩は
1:44:33	不確かさ管路ケース解析ケースの設定の考え方。
1:44:40	相乗りしてきました設定する場合の不確かさ感度解析ケースの設定の考え 方を整理すること。
1:44:47	でございます。
1:44:50	その大規模損壊のケースを設定するという場合は我々が今やっているような パターン 1 と記載するのではなくて、元通りのそのだ大規模損壊係数というよ うな
1:45:03	その不確かさをどの形成見ますかというのを明確にするというところから先生 きかせ消化器全長ちゅ
1:45:14	編成いたしました。 は以上でございます。
1:45:17	だけれども、お寺れ定例よろしいでしょうか。
1:45:22	はい。具体的に手順具体的に規制庁の武田です。具体的な手順に関して、と 整理して再度次回のヒアリングで説明してください。
1:45:32	これ 2 回ですかね。
1:45:35	じゃあ次へと燃料関係に関してお願いします。

1:45:39	はい三番れる名称計算コードとPI結果との比較の結果は、実験処方に伴う誤差を踏まえた値に見直すということを検討することということで今広い範囲の値ノミナル値書いてございますけども実験誤差を踏まえた辺り見直したいと考えてございます。
1:45:57	三番以上五つ。
1:46:00	ヤマモトですが、コメントございません。
1:46:03	ありがとうございます。いや四番行かせていただきます。燃焼度試験編を使用したPRA結果との比較が今回未臨界性評価で設定する燃焼度い24ギガ
1:46:17	にも適用し得るかということ整理すること。
1:46:21	記載いたしましたこちら学科で消火のヤマモトですが、これはあるイワノ入れるか入れないかも含めて検討になるので、例えば仮にあり落として高燃焼度だけでやるという場合に限って、必要かなと思ってます。以上です。
1:46:38	了解いたしまして、その方が限定が既往赤丸ちょっとつけさせていただきます。すると合間という形です。
1:46:55	皆さんの方これでもいいですか。
1:47:01	周りあんまり部どっちを使うか両方含めるか別にして、まずアリアンツ泊でどうい一部結果説明あったかと思えますけども、
1:47:15	資料編の
1:47:19	測定されている資料編としてはどういう条件かとそういうそのうちどれどれかを選ぶのか、全部使うのか。
1:47:28	うん。
1:47:30	にもよりますけど、その辺のちょっと情報を前段として入れておいてもらうとらえたほうがいっていいかなというふうに建築
1:47:43	浅井力のシンムラいずれ等、今後空き家資料御提示させていただく際は、選定の考え方は来を今回引き上げ御説明申し上げた通りですけれどもその旨わかるようにちょっと記載はしたいと考えてございます。
1:47:59	はい、よろしくお願いします。
1:48:03	はい。規制庁の武田です。ちなみに
1:48:06	ホワイトボードが今回ミリ改正評価になってるんで後で直してください。
1:48:13	全体として何かございますか。
1:48:16	じゃあの字形とこの資料なんですけども次回に資料はいつぐらいに減っ提出いただけるかちょっと確認したいんですが、
1:48:24	地
1:48:32	／際のフクハラですよ、ちょっとまたいつ礫層またはちょっとルートでご連絡させていただく形にさせていただいてよろしいでしょうか。

1:48:42	規制庁の武田ですじゃあまた別途、事務局のほうで確認したいと確認させていただきます。
1:48:49	だから、全体として何かございますか。
1:48:56	スズキは何かあります。
1:48:58	ありますか。
1:49:01	藪です。はい。皆さん別途何かあれば、
1:49:05	お願いします。はい、大丈夫です。はい、じゃあ、内容なので、今日はこれで終わらせていただきたいと思います。どうもありがとうございました。
1:49:15	フカボリ或いは令和さ。